ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成29年1月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより 1

2017年
JANUARY
NO.67

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

表紙からMessage

ペッタンペッタン　みんなでもちつき会

12月13日、四倉第一幼稚園で行われたもちつき会。園児たちは千本きねでもちをつき「よいしょ！よいしょ！」のかけ声が遊戯室に響きました。つきたてのもちは雑煮やきな粉もちなどに調理され、園児たちは「おいしい！」と歓声を上げて、夢中で頬張っていました。

各地区トピックス

師走の風景……2
衡巓（こうてん）和尚と四倉十四景を学ぶ……3
フォトコンテスト表彰式……4
新春の風景……5
なこその希望プロジェクト……6
ふるさとダイアリー……7

ふるさとだよりの記事が動画で!!

COCOAR

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

ふるさとの未来へ向けて

久之浜・大久地域づくり協議会 緑綬褒状受章祝賀会

12月11日、秋の褒章において社会奉仕活動功績で緑綬褒状を受けた久之浜・大久地域づくり協議会（木村芳秀会長）の受章祝賀会が、太平洋健康センターいわき蟹洗温泉で開かれました。

式の冒頭、木村会長が「美しい自然、豊かな海を掲げた長年の活動をこれからも続け、まちづくりに貢献したい」と挨拶。来賓からの祝辞後、平成9年の同協議会発足時の会長であった片寄清次顧問による乾杯の発声で、祝宴がスタートしました。

出席者はこれまでの活動を振り返りるとともに、これからのまちづくりへの思いを新たにしていました。

120名の出席者を前に挨拶する木村会長

清水敏男市長をはじめ地域づくり協議会役員と来賓の方々

師走の風景　久之浜・大久

再現されたフグ雑煮

12月10日、久之浜・大久ふれあい館で、かつて漁師の家で作られていた雑煮が、久之浜町婦人会のみなさんの手で再現されました。フグの干物を出汁に、にんじんや里芋など8種の具材が入った贅沢な一品。一足早く正月気分を味わいました。

見事に再現されたフグ雑煮

はたや再オープン

12月17日、浜風商店街で営業していたスーパー「はたや」が、震災前の元の場所で再オープン。「この日を待ってたよ！」と、常連客が開店前から店の前に並び、10時になると店主の遠藤利勝さんが「お待たせしました」と笑顔で迎えていました。

新築された店の前で、お客さんを迎える店主の遠藤さん

久之浜・大久ピックアップ

年末恒例もちつき大会

11月27日、「企業人ボラ・バス有志の会」がもちつきを行いました。春には商業施設「浜風きらら」が完成するため、浜風商店街では最後のもちつきとなりました。

すっかり恒例となったもちつき

6回目となる桜の植樹

12月3日、桜の植樹を続ける「チーム桜龍in久之浜」のメンバーが静岡県三島市や富士市から訪れ、吉原二六さんら地元のみなさんと一緒に植樹を行いました。

筒木原で行われた桜の植樹

初日の出の名所波立海岸

風も無く波も穏やかな海岸に今年も多くの人が詰めかけました。雲間から太陽が顔を覗かせ、穏やかに年が明けました。

弁天島に映える初日の出

ふるさとの未来へ向けて

道の駅の復興の歩みを紹介

12月9日・10日、全国各地で地域づくりに取り組む団体などで構成される、日本風景街道大学の「ふくしま浜街道校」が、市内や双葉郡で開催されました。

9日は現地ワークショップが行われ、参加者は「被災地視察と高校生との協働による名所づくり」と「被災地視察と官民一体の復興まちづくり」の2班に分かれて、道の駅よつくら港や久之浜の防災緑地、富岡町の夜ノ森地区、楢葉町の常磐道ならはPAなどを視察しました。

10日は、ラトブ6階のいわき産業創造館で全体会と分科会が行われました。全体会の開催地報告では、NPO法人よつくらぶの伊藤浩一理事長が、震災時の道の駅の様子や、建物のリニューアルと営業再開までの歩みなどを説明。

「これからも地域に貢献し、愛される道の駅、よつくらぶでありたいと思っています」などと話しました。

全体会で開催地報告をする伊藤浩一理事長

衡巓和尚と四倉十四景を学ぶ

11月17日、今年度の四倉学講座が開講しました。初日は商工会館で、郷土史に詳しい緑川健さんが、いわき市出身の禅僧・衡巓和尚が記した、江戸時代に四倉の景色や人々の生活などを詠んだ漢詩・四倉十四景詩について解説しました。

12月4日の第2回は、四倉十四景ゆかりの場所をめぐるまち歩きを開催。約50名の参加者は海嶽寺や北辰妙見堂、四倉諏訪神社などのほか、現在は暗渠になっている境川に、かつて架かっていた御免板橋の場所などを見学しました。

参加者のひとりは、「四倉に住んでいても知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になりました」と衡巓和尚の足跡に、理解を深めた様子でした。

第二景「御免板橋」が詠まれた場所で解説する緑川健さん

津守神社から海を眺め、第三景「津守望海」の気分を味わう参加者

四倉ピックアップ

ふくまるにサンタが来訪

12月25日、チャイルドハウスふくまるでクリスマス会が行われ、プレゼントを届けにたくさんのサンタクロースがやって来たほか、福引きやライブなども催されました。

サンタの来場に館内は大興奮

年の瀬恒例の暮れ市

12月26日、四倉仲町商店街で、年末恒例の暮れ市が行われ、つきたてのもちが配られたほか、正月用品と野菜などが販売され、子ども向けのくじ引きも人気でした。

千本きねでもちをつく子どもたち

公民館でもちつき会

12月28日、四倉公民館でおやこもちつき会が行われました。40kgのもち米が用意され、参加者は千本きねでもちをついたあと、あんこもちや雑煮などにして食べました。

つきたてのもちを味わう参加者

ふるさとの未来へ向けて

豊間北高台現地見学会

11月27日、豊間地区の北側高台造成地で、豊間地区復興工事現場見学会が行われました。朝まで降り続いた雨で足元の悪いなかでしたが、約50組100名を超える参加者が訪れ、関心の高さが伺われました。

工事関係者からは、工事の進捗などに加えて、南側高台についての説明もありました。南側高台は法面施工の際、地下水が多く含む層があり、水抜き作業や地層を強化する工事が必要になったため、平成29年6月の引き渡し予定が、平成30年3月に遅延することなどの説明がありました。

説明を聞きながら宅地の仕上がり状況などを確認する参加者

地図上で換地されたそれぞれの土地を確認

フォトコンテスト表彰式

12月18日、とよマルシェ内の豊間屋で「海まち・とよまフォトコンテスト」の表彰式が行われました。

最優秀賞には沼ノ内在住の芦澤久美子さんの「～海が教えてくれること～感謝の気持ちを忘れずに」が選ばれました。一家でサーフィンを楽しむ躍動感のある作品です。

優秀賞は折笠唯史（ただふみ）さんの「朝日をあびて」と、小野貞夫さんの「早春に舞う」の2作品。豊間区賞、薄磯区賞、沼ノ内区賞のほか、地元企業賞3作品も選ばれ、全50作品のうち、9作品が受賞しました。

受賞者には地元産品などの豪華な副賞も贈られました。主催者から平成29年に第2回を予定していることが発表され、フォトコンテストは盛況のうちに幕を閉じました。

全員サーフィンが趣味という最優秀賞を受賞した芦澤さんファミリー

最優秀賞作品「～海が教えてくれること～感謝の気持ちを忘れずに」

平ピックアップ

とよマルシェイベント

12月18日、とよマルシェで「とよマルシェカラオケ大会」が行われ、3月に開催される決戦大会の最終枠5名が選ばれました。

カラオケで盛り上がる会場

サンタへ恩返し

12月25日、薄磯の丸又蒲鉾に今年もサンタに扮したNPOパワーオブジャパンのメンバー30名が訪れ、プレゼントを贈りました。お返しに、従業員たちからもプレゼントが贈られました。

震災以降、毎年訪れるサンタたちと記念撮影

たいら元気発信

薄磯地区の初日の出

復興事業が進む薄磯地区の高台から望む初日の出。雲間から陽光が差し込むと一斉に歓声が上がりました。

ふるさとの未来へ向けて

港町に花を咲かせましょう

11月25日、江名女性の会のみなさんが、江名の港町4ヵ所に、パンジーやビオラなどの花の寄せ植えをしました。金成洋子会長は「花で江名の町を明るくしたい」と話していました。

協力し合って花の寄せ植えをした江名女性の会のみなさん

橋りょうの名称が決定！

小名浜港3号ふ頭と東港地区（人工島）を結ぶ橋梁の名称が、12月1日に決まりました。応募総数288件（161人）のなかから、2度にわたる審議を重ねた結果、「小名浜マリンブリッジ」に決定。今後、小名浜のシンボルとなっていくことでしょう。

現在は車道や歩道の舗装などが行われ、3月末には工事完了予定

一月一日　新春の風景・小名浜

小名浜港

いわきデイクルーズ主催の「初日の出クルーズ」が今年も開催され、約100名がふえにっくす号に乗船。海上でご来光を拝み、船内では鏡割りも行われ、お屠蘇（とそ）が振る舞われました。

洋上から見る初日の出

江名諏訪神社

大晦日から元旦にかけて、境内にはたくさんの参拝者が訪れ、今年1年の家内安全や健康、商売繁盛などを祈願しました。また、毎年恒例の甘酒が振る舞われました。

初詣に訪れた家族連れ

小名浜ピックアップ

もちつき会開催！

12月2日、江名幼稚園でもちつき会が行われました。園児たちの父親も参加し、「よいしょ、よいしょ」と掛け声をかけ合いながら、もちつきを楽しみました。

もちを丸める園児たち

上手にできた発表会

12月10日、永崎保育所で保育発表会が行われ、園児たちは合奏や遊戯、劇などを披露。子どもたちの成長した姿に、会場から温かい拍手が送られました。

ぱんだ組の園児による劇

10回記念の朝市

12月17日、「第10回中之作朝市」が中之作魚市場で開催されました。今回は10回を記念して、特別企画の抽選会も行われ、市場は早朝から活気にあふれました。

正月の準備に訪れた来場者

ふるさとの未来へ向けて

岩間集会所 鍵の引渡しを実施

平成28年7月から、岩間町小原地区で建築工事が進められていた岩間集会所の鍵引渡式が、12月17日に同集会所で行われました。

清水敏男市長（左）から鍵を受け取る、岩間町の斎藤正志区長（右）

「勿来かるたんか」デザインが完成

12月20日、第21回勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業が、双葉町役場いわき事務所で行われました。

「勿来かるたんか」の絵札と読み札、すべてのデザインが完成。1月22日に開催される「かるたんか交流会」までに、印刷・箱詰めが行われ、交流会の中で実施するカルタ大会で使用されます。

試作品の「勿来かるたんか」を使って1試合の所要時間を計測

なこその希望プロジェクト2016 ～未来の君に届けよう～

勿来市民会館でイベント実施

12月23日、NPO法人勿来まちづくりサポートセンターが行っている事業「なこその希望プロジェクト2016」の一環として、サロン祭り及びダンスワークショップの発表会が、勿来市民会館で開催されました。

川部小5年生によるダンス発表。勿来高演劇部といわき養護学校くぼた校の生徒もダンスを披露

和太鼓演奏と合わせた人形浄瑠璃

サロン活動で制作した作品を展示

勿来ピックアップ

2年ぶりの楽しいもちつき

12月16日、昨年度は園舎の耐震補強工事により実施が断念された汐見が丘幼稚園で、もちつき会が行われ、園児たちはつきたてのもちを味わいました。

仲良くもちをつく園児たち

好評だった上映会

12月26日、冬休み子ども映画会が、植田公民館で行われました。「うさぎとカメ」などの童話のほか、津波を題材にしたアニメも上映され、約100名の児童が集まりました。

アニメで防災知識を学習

なこそ元気発信

國魂神社の鐘楼をつく親子

ふるさとダイアリー

平

復興祈願 ブロンズ像除幕式

12月17日、豊間海岸堤防（旧塩場付近）で復興祈願ブロンズ像「海をみる」の除幕式が住民、行政、建設関係者合わせて約50名の参加で行われました。像の制作者・湯川隆さんは「海とどう向き合って生きるかを考え、制作しました」と話し、遠藤守俊豊間区長も「復興のシンボルにしたい」と話していました。

市長、制作者、区役員、建設関係者による除幕の様子

鈴木徳夫前豊間区長がモデルになった像と湯川さん

小名浜

小名浜方部 女性のつどい

11月19日、小名浜公民館で「第59回小名浜方部女性のつどい出前講座」が開かれ、薬の正しい飲み方・使い方について学びました。

質疑応答で質問する参加者

洋向台マルシェ初開催

大盛況の食品販売ブース

12月22日、洋向台集会所で、1日限りの手作りマルシェが開かれ、飲食や食品販売のほか、ブレスレットの制作体験などが行われました。

勿来

身体に優しい「食」で健康第一！

12月8日、市公営住宅関田団地集会所で、身体に優しい材料を使った料理教室を開催。NTTドコモのグループ企業「ABCクッキングスタジオ」のメンバーが講師を務めました。作った料理を食べた後は、NPO法人きぼうときずなのメンバーから、骨密度測定などを含めた健康相談会が実施されました。

ハンバーグを丸める参加者

診断の結果も詳しく説明

久之浜・大久

第26回浜っ子大会

歓声が響いた二小での浜っ子大会

12月4日、久之浜地区子ども会育成会連絡協議会主催の浜っ子大会が久之浜二小体育館で開かれました。リースや割り箸鉄砲づくり、10人に分かれてのグループ競技など、冬の一日心地よい汗を流しました。

幼稚園と保育所で発表会

12月11日、平第一幼稚園と久之浜第一幼稚園合同の生活発表会が行われました。総勢240名の大所帯、会は3部構成で進みました。

12月17日、久之浜保育所で保育発表会と、プログラム終了後には、保護者も参加してクリスマス会が開かれ、親子で楽しい時を過ごしました。

久之浜第一幼稚園

言語劇を披露したさくら2組

久之浜保育所

見事に舞うまつ組3名

四倉

みんなじょうずにできました

12月3日、四倉保育所と三宝保育園でおゆうぎ会が、4日には四倉第一幼稚園で生活発表会が開かれ、園児たちはステージで劇や歌、合奏などを発表し、保護者から温かい拍手が送られました。

四倉保育所

さくら組の男子による発表

三宝保育園

ぼたん組による和太鼓演奏

四倉第一幼稚園

たんぽぽ組の劇あそび

いわき市 ふるさとだより 第67号 平成29年1月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp
http://www.furusatodayori.com

お知らせ

防災・災害に関するサービスについて

11月22日、福島県沖を震源とする地震が発生し、本市でも最大震度5弱の揺れが生じ、沿岸部では津波が押し寄せました。

市では防災・災害情報をお知らせするため、さまざまなサービスを行っております。いざという時に備えるため、ぜひご利用ください！

○登録・設定変更はこちらから

いわき市防災メール配信サービス

（空メールを送信）
➡iwaki@entry.mail-dpt.jp
へ空メールを送信

（ＱＲコードから登録）

○防災行政無線の放送を聞き逃した場合

防災行政無線電話応答サービス

専用ダイヤル番号　☎21-9901

【問い合わせ】
市総合政策部
危機管理課
☎0246−22−1242

11月22日に発生した津波による、高台避難の様子
（提供：望洋荘（平豊間））

ふるさと伝言板

第25回四倉地区青少年健全育成推進大会

日時／1月28日（土）
13:30〜記念講演
14:40〜小中高生の意見発表
場所／四倉公民館

中之作つるし雛飾りまつり

日時／2月4〜6日（土〜月）
10:00〜16:00
場所／中之作「清航館」

住まいと暮らしの再建相談会

日時／2月5日（日）
①10:00 ②13:00
③15:00（各90分程度）
場所／市文化センター
定員／9組(各時間3組)

日時／2月25日（土）
①10:00 ②13:00
③15:00（各90分程度）
場所／小名浜市民会館
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで。

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとPICK UP

みんなで一緒にメリークリスマス！

12月18日、中央台高久第一応急仮設住宅集会所でクリスマス会が行われました。田園調布学園大学の学生と職員合わせて17名が訪れ、子ども向けのゲームやキャンドル作りなどを実施。最後は参加者へお菓子が配られました。

隠された暗号を解読し、いなくなったトナカイを救出するゲームに挑戦！

トナカイを助けるため、一生懸命ゲームに挑戦する子どもたち

見事トナカイを救出！サンタさんからお菓子をプレゼント

❊プチ講座❊ Part.16
なるほど！いわきの歴史コーナー

いわきの国宝、白水阿弥陀堂（しらみずあみだどう）

内郷白水町にある白水阿弥陀堂は、永暦元年（1160年）に、岩城地方の領主・岩城則道の妻である徳姫が建立した、東北3大阿弥陀堂のひとつです。

当時、釈迦入滅後2千年を境に世が乱れるという「末法思想（まっぽうしそう）」が広がり、王侯貴族たちは、極楽浄土を模した浄土式庭園や阿弥陀堂を、競って造営したと言われています。徳姫は夫の菩提（ぼだい）を弔（とむら）うため、故郷である平泉の毛越寺などを参考にして浄土庭園を築き、その中心に中尊寺金色堂を模して阿弥陀堂を建立しました。

現在、阿弥陀堂は県内唯一の国宝建造物に、浄土庭園は国史跡に指定されています。

県内で唯一の国宝建造物となっている、白水阿弥陀堂

背後を取り巻く山々を蓮の花に例えて築かれた、浄土庭園

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます！

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動すると右記のマークが表示されます。
③このマークをタップします。
④画像をスキャンします
⑤認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！
注）ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。